

明治から大正・昭和初期にかけて、「夢」に挑戦した7人の軌跡をたどる

中庄の歴史を語り継ぐ会

活動の目的

中庄の歴史を語り継ぐ会は、平成17年（2005）12月に「中庄小学校150年史刊行準備会」としてスタートした。翌年秋に名称を「中庄の歴史を語り継ぐ会」と変更し、「中庄地区の歴史・文化を後世に語り継ぎ、地区の一層の発展に寄与する」を目的に、今日まで活動を続けてきた。令和2年（2020）が創立15周年を迎えるのを記念して（1）パネル展&講演会「KOバスが走った頃の倉敷」（2）共同調査「北米・ハワイ移民の夢と挑戦」を企画した。

◇第一部「KOバスが走った頃の倉敷」

大正末にハワイから帰国し、まだ日本では普及が始まったばかりの自動車輸送事業に携わった「樫村孫一郎」と、倉敷がその姿を「町制」から「市制」へと移行する転換期に「倉敷のまちづくり」に挑んだ「大原孫三郎」、二人の人物の「夢と挑戦」を紹介することとした。

◇第二部「北米・ハワイ移民の夢と挑戦」

明治維新とともに日本人の北米・ハワイへの移民は始まった。西日本を中心に、岡山県からも多くの方が北米・ハワイへと向かって行った。県内では、吉備郡・御津郡に次いで都窪郡とはびぬけて多かった。学校法人ノートルダム清心学園・清心女子高等学校のある地元の都窪郡庄村からも5人の青年が海を渡った。その軌跡を高校生と追うこととした。

活動の内容及び経過

◇パネル展／3月28日（土）～4月23日（木）倉敷市立中央図書館1階「KOバスが走った頃の倉敷一大正から昭和初期100年前の姿」／4月30日（木）～5月6日（水）倉敷公民館1階展示室

◇講演会／4月11日（土）倉敷市立美術館3階講堂／5月2日（土）倉敷公民館2階大ホール

※パネル展は新型コロナウイルス感染症の非常事態宣言のため4月20日で中止。講演会はいずれも中止となる。

◇学校法人ノートルダム清心学園・清心女子高等学校との「北米・ハワイ移民の夢と挑戦」共同調査の対象者は、都窪郡庄村出身の「犬飼平三郎」「小野寿吉」「犬飼恭平」「北山弥次郎」「内田七五三蔵」の5名。

7月18日（土）スタート。活動は毎週土曜日午前中。12月18日（土）中間報告。3月12日（金）校内での生徒課題研究発表。3月27日（土）倉敷庄公民館で一般の成果発表会を実施した。

活動の成果・効果

調査に当たった生徒たちは、100年前に、地元の青年た



清心女子高校での中間報告



清心女子高校生による成果発表会／庄公民館 KOバスが走った頃の倉敷特別企画展ポスター／2020春期



「北米・ハワイ移民」調査活動の山陽新聞記事

ちが海を渡り北米・ハワイへ行った事実に驚くとともに、彼らを突き動かしたのは何であったのか、そこに大変興味を持った。地域の墓地や神社・寺などを訪ねて親族や関係者から人物像を探る作業は、生徒たちにとって初めての経験であった。生徒たちにとって郷土の歴史の一端に触れて先人の勇気とたくましさを知ることが出来たのは良かった。

今後の課題と問題点

地域の歴史は、時間とともに風化し記憶から消え、埋もれてしまっていることが多い。地域に永く暮らしていても、その土地で昔どんな出来事があったのか、どんな営みがなされていたのかを知る人は少ない。今回は、二代も三代も前の人びと、100年前を生きた7人の「夢と挑戦」の人生は、現代の高校生にも刺激になったものと思う。

開国後、半世紀も待たず青年たちを北米・ハワイへ駆け立てた動機は、ハワイのベーカリー業の恩人「犬飼平三郎」と「小野寿吉」、ニューヨークの画壇で活躍した「犬飼恭平」、ハワイの柔道界の草分けの一人「北山弥次郎」、全米各地を花菱販売で駆け回り米相場では巨万の富を得た「内田七五三蔵」、5人の生涯はまだ未詳の部分が多い。今後の調査につながれば幸いである。

- 代表者：戸板啓四郎 ●所在地：倉敷市中庄
- TEL：090-6943-7115
- URL：nakashou_rekishi@yahoo.co.jp
- 設立年：2005年 ●メンバー数：33名